

WE しもやま LOVE



ラリージャパン三河湖SSが開催されました！



▲羽布観戦エリアの実行委員・ボランティア

11月24日（日）、世界ラリー選手権が開催されました。三河湖周辺に設けられた観戦エリアには、国内外から約3,500人もの観戦者が訪れ、下山地区の田園風景の中を疾走するラリーカーを応援しました。当日は、しもやまラリー実行委員会及びボランティアによるステージイベントや、五平餅など下山地区内の事業所の出店、オリジナルグッズの販売など、下山地区全体での「おもてなし」を実施しました。

世界ラリー選手権の開催を通じて、下山地区の魅力を大いに発信することができました。御協力いただいた皆さま、ありがとうございました！

【住民限定の観戦エリアで応援を実施！】

今年の三河湖SSはコースが変更となり、去年はゴール地点だった三河湖畔をスタートし、和合町を通過する新たなコースとなりました。新たな試みとして、和合町の神明神社で下山地区住民限定の観戦エリアを設け、申込みをいただいた約300人の住民の皆さんが観戦しました。当日は、下山地区在住のラードライバー ホン ミンウィ（愛称：ミンミン）さんらの解説とともに、目の前を走り抜けるラリーカーの迫力を感じながら応援しました。

また、希望者は、まどいの丘で実施されたポディウム（表彰式）も観覧しました。表彰台で行われるシャンパンファイトならぬ「スパークリング日本酒ファイト」では、最前列で参加した住民の皆さんはお酒をかぶりながらの観覧となり、とても盛り上がる体験となりました。



▲参加いただいた皆さん



▲皆さんの想いを届けました！
（右から4人目が勝田選手）

【「しもやまラリーよってらっ祭みてらっ祭」振り返り】

10月1日から12月1日の期間で実施した、ラリー応援期間「しもやまラリーよってらっ祭みてらっ祭」が盛況のうちに終了しました。

下山地区体育大会でのデモランを皮切りに、地区内外のイベントへPRブース出展や、商店街の方等のご協力によるビレッジドレッシングなどを実施し、住民の方々にラリーを身近に感じてもらうことができました。皆さんに寄せ書きをいただいた、ラードライバー勝田貴元選手への応援フラッグは、11月19日のレッキの際に直接お渡ししました！



下山地区自治区紹介（自治区リレー 羽布）Vol. 5

下山地区は7つの自治区に分かれています。各自治区の魅力を発信していきます。第5回目は、羽布自治区を紹介します。

羽布自治区…下山地区の東部に位置し、野原町・大桑町・羽布町の3町で構成されており（94世帯、令和6年12月時点）、3つの組から成っています。

今回は、羽布自治区長 安藤 文一 さんにお話を伺いました。

Q.羽布自治区はどのようなところ？

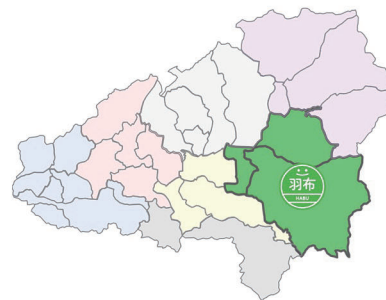
三河湖や野原川観光センターなど観光地・観光施設があり、世帯数と同じくらい鹿の家族も住んでいそうな地域です。

毎年4月に地域内に約30本の鯉のぼりを立てます。8月には地域の夏祭りがあり、自治区内外から多くの方が参加し「京都の女の子」をはじめ盆踊りを楽しんでいます。

羽布自治区でも高齢化が進んでおり、75歳以上を対象とする敬老会（9月）では、80数名を登録している状況です。3月には三河湖園地の環境美化活動を行っています。

三河湖周辺は「世界ラリー選手権」三河湖SSのコースになっており、熊野神社やMIKAWAKOモニュメントなど、ラリーファンが訪れる聖地となっています。5月に開催される「豊田しもやまラリー」では、懐かしい車の参加も住民の楽しみの一つとなっています。11月に開催された「世界ラリー選手権」三河湖SSでは、下山の住民数に迫る約3,500人の観戦者が来場し、当日は、ラリーカーのエンジン音とスピードに圧倒され、さすが世界大会との思いでした。

地域の行事や、ラリーなどのイベントをきっかけに活気のある地域になればと思います。



▲羽布自治区夏祭り



▲米作り体験

Q.羽布自治区プランはどのようなプラン？何してるの？

羽布自治区プランでは、4つの取組を進めています。①定住・移住の促進、②住民同士の生活支援（支えあい体制の整備）、③農山村の魅力・景観の維持・向上、④自治区運営の維持・改善です。取組③では、遊休農地を活用して米作りを行う「オラたちの田んぼ」を実施しています。地域活動の一端を担う人材育成を目的に、米作り体験を企画して地域外からの参加者を募り、メンバーでの共同出資・共同管理のもと米作りを実施していく取り組みです。今後は、メンバーが拡大し、管理のノウハウが蓄積されることで、遊休農地の活用を増やしていくことを目標としています。

自治区から一言！

羽布自治区においても、高齢化、住民の減少、耕作のできなくなる田畑の増加が予想されます。様々なまちづくりの活動などを通して、活気のある・暮らしやすい地域、なにか困ったことがあったときは、遠慮なく「おたがい様」と思える、住民同士の強いつながりのある地域になればと思っています。



神殿町の宅地分譲地の購入者を募集しています！

豊田市では、山村地域への定住を進めるため、「2戸2戸作戦宅地分譲事業」を実施しています。

神殿町日折の分譲地では5区画を整備し、現在、購入者を募集中です！地域活動に積極的に参加いただける方、これからの山里を若々しく支えていただける方など、Uターン、Iターン問わず大歓迎です。ご家族やお知り合いにご興味のある方が見えたら、ぜひお声掛けください。

なお、この分譲事業では、現地見学・仮申込みをいただいたうえで、地域の方々との面談を実施し、購入者を決定することになります。事前に地域の方と購入希望者の顔合わせができ、それぞれの不安を解消することができるメリットがあります。



分譲地の概要・申し込み方法など、詳細はこちらをご確認ください



▲分譲地（県道363号から）

区画	区画面積	価格
①	470.81㎡	5,969,000円
②	442.88㎡	6,107,000円
③	649.84㎡	6,704,000円
④	459.87㎡	5,870,000円
⑤	601.94㎡	5,457,000円



令和6年度わくわく事業団体紹介 しもやまみんなの学び舎＊たんぽぽ

【映画「みんなの学校」上映&特別ゲストお話し会】

昨年度も実施した映画「みんなの学校」上映会を、今年も開催します。参加者募集中です。
今回はゲストに、映画の舞台になった不登校も特別支援学級もない学校づくりを目指した、大阪市立大空小学校初代校長 木村泰子先生と、子どもの心に添うことを基本姿勢とした、りんごの木代表 柴田愛子さんをお招きしてお話し会を開催します。この機会に、子どもがあらひのままでいられる学校や地域づくりについて話合ってみませんか？

- 日 時 2月11日（火） ※各回30分前開場
①上映会 10:00～11:50 ②お話し会 13:30～15:00
③上映会 17:00～18:50
- 場 所 豊田市下山保健福祉センターまどいの丘（神殿町）
- 料 金 お話し会+上映会 大人1,000円
上映会のみ 大人500円

■申込締切 2月9日（日）

※小さなお子様連れの方でもご参加いただけます

■申込方法 お申し込みは右の二次元バーコードから



みなさまのご参加
お待ちしております！



下山の自然あれこれ「⑬平瀬町の八幡神社のヒノキ」

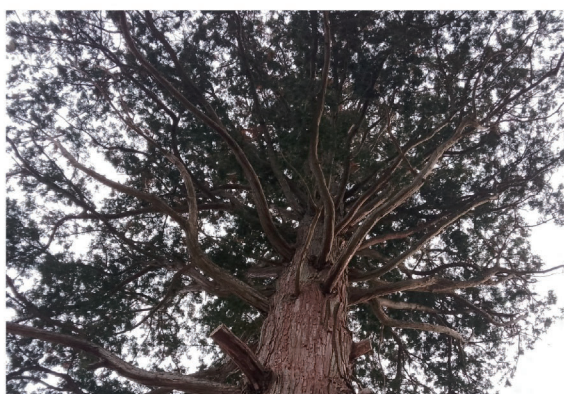
平瀬町の八幡神社の境内にあるヒノキの大木は、市の天然記念物に指定されています。八幡神社のご神木として、地元の方々の手によって大切に守られてきた木です。

鳥居をくぐり石段を登って、神社の平地の境内に出ると奥に神明造りのお宮が鎮座しています。お宮の手前には2体の狛犬が配置されており、左の狛犬の後ろ側に立ち上がっているのがヒノキの大木です。

樹高30m程度、胸高の直径140cm、根元は山裾のように周囲に広がり、巨大な幹を支えています。樹皮には地衣類のレプラゴケが所々に付いて、老木の風格を醸し出しています。

このヒノキの最大の特徴は、上空で四方に向かって、縦横無尽に広がっているその枝ぶりです。この枝は地上から6mほどからトップまでの間に、無数の枝を放射線状に張り出しています。幹から枝先までの最大長は約9m。個々の枝の太さは20cm以下で決して太い枝ではないですが、驚くべきはその数で、100本余りの枝が幹から出て、うねうねと蛇行しながら四方に伸びています。これだけ自由に四方に枝を伸ばしているということは、この木は稚樹の頃から周囲にライバルになる木がおらず、広々とした上空を1本で独占して成長してきたのでしょう。

ヒノキは日本を代表する針葉樹の1つであり、平瀬町のように神社やお寺のご神木になっているほか、神社等の建物用の木材として使われてきました。世界最古の木造建築と言われる、奈良県の法隆寺の材料がヒノキ材ということは有名な話。平瀬町にある、このヒノキの大木に是非会いに来てください。



▲平瀬の八幡神社のヒノキの枝の広がり

連載コラム 「せっつが行く！ ファイナル」 しもやまの “ しー ” って？

「しもやまの“ しー ”」の合図とともに切られるカメラのシャッター音。今では、下山で開催されるイベントで集合写真を撮影する時に聞かれる合言葉です。この指文字と合言葉は昨年の豊田しもやまラリーのクイズ大会でじゃんけんを行った時に、「最初はグー」を、指で作った“ し ”の字と「最初はしもやまー」の掛け声に変えて行ったのが始まりで、その後様々なイベントで使われるようになりました。地域内での広まりはまだまだ限定的ですが、徐々に認知度は上がっており、いつかは下山に来訪する誰もが、このポーズで写真を撮るのが定番になればと思います。下山に暮らす人、訪れる人みんなを笑顔にしてくれる魔法の呪文のような不思議な力をもった優しい合言葉「しもやまの“ しー ”」を世界中の人に広めてみませんか？

この下山地区情報誌がご家庭に配られる頃には、私は下山支所出向の任期を終え、元職場に帰任しています。下山の皆さまには、暖かく迎え入れていただき、故郷の岡山にいるような感覚で仕事をさせていただきました。職務では下山を離れますが、下山愛は変わることはありません。1年9ヵ月の短い間でしたが、本当にありがとうございました。また、下山のまちづくりやイベントには顔を出します！



▲右手を“し”の字にして笑顔でポーズ



▲仲間と三河湖畔を走った後の“し”



大盛況にて幕を閉じた世界ラリー選手権。

読者の皆さまは観戦を楽しめましたか？観戦エリアやリエゾン区間での応援など様々な楽しみ方でラリーを盛り上げていただきありがとうございました。

今回の記事は、ラリーを盛り上げるためにミンミンさんが生実況してくれていた和合の住民観戦エリアでの様子をお届けしたいと思います。

当日、一本目のSSが開始される予定時刻にラリーカーが訪れず、観客の皆さまは何が起きたか分からない状況がありました。その時、パブリックビューイングで、一つ前のステージでクラッシュが起きたことを把握したミンミンさんはすぐにマイクを持ち、会場にいた観戦者に状況を説明してくれました。同じく、生実況をしていた、ラリードライバーの大山夫妻とのかけ合いでは、各選手の情報やラリー選手ならではのエピソードなどラリー観戦が初めての人でも分かりやすく楽しめるように説明してくれました。



▲前和合区長とミンミンさん

本名：洪銘蔚（ホン・ミンウィ）
下山地区在住のラリードライバー
豊田市わがまちアスリート



▲大山夫妻と実況している様子

実況を終えたミンミンさんにインタビュー

Q：和合観戦エリアでの生実況いかがでしたか？

A：遠くから迫ってくるラリーカーの迫力を見てもらいながら、実況をしたことで臨場感を持って皆さんに魅力を伝えることができて大熱狂の実況となりました！！

【今回の学び】

ルールや専門用語などが難しいラリー競技も、実際に実況を踏まえて観戦すると面白さが倍増しますね。空き時間が多いラリー競技において、出走している選手のプロフィールや世界ラリー選手権の出来事を話してくれたことにより観戦時間を有意義に過ごすことができたこと初めて観戦された住民の方から好評の声を頂くことができました。

下山地区データ



人口
3,945 人
(-67)



男性
1,969 人
(-23)



女性
1,976 人
(-44)



世帯数
1,651 世帯
(14)

(12月1日現在)
※ () は前年同月比

発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）

毎月15日発行

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344

MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp



WRC 参加者へのおもてなし品を作成しました！

今年度も豊田市で WRC (世界ラリー選手権) フォーラムエイト・ラリージャパン 2024 が開催され、下山地区においても三河湖 SS 並びに下山保健福祉センターまどいの丘においてポディウム（表彰式）が開催されました。

その中で、**下山地区内の福祉サービスを利用されてみえる高齢者の方々**も、地区の住民として共に大会を盛り上げ、地域の活性化に寄与するために、**地区内の福祉事業所合同**で検討し、**おもてなし品を作成**しました。9 月上旬頃にグループの名前の検討、事業の目的の共有及び、おもてなし品の作成物の検討をし、今年度は、**おまもり（におい袋）**を作成する事に決定しました。

※グループ名は「しもやまじ〜ば〜」となりました。

下山地区内福祉事業所

グループホーム下山の森

スマイリング下山店

まどいの丘デイサービスセンター

まどいの丘おいでんクラブ

社会福祉協議会下山支所

グループホーム下山の森
ラベンダーパック入れ

スマイリング、まどいの丘
袋の作成、袋のひも締め

グループホーム下山の森
ビニール袋入れ、シール貼り



11月19日 しもやまラリー実行委員会を通じて各選手に配布しました！
※選手の方から車内に飾ったと自身の SNS にアップしてくれました♪

しもやまラリー実行委員会
澤田会長へ
市役所下山支所にて
贈呈式をしました！





下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時~午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座報告

11/16
(土)

トヨタテストコース見学会

参加 418人

今年度は新しく完成された来客棟で受付をし、バスに乗車するまでの間は施設内に展示されている車両などを観覧しました。その後、テストコースを見学し、途中、バスから降りて傾斜38度のバンクを体感しました。参加者は普段、体験することができない貴重な時間を過ごすことができた感激した様子でした。



12/8
(日)

ハンドメイド講座

カルトナージュdeクリスマスオーナメント

参加 11人



クリスマスの前に、フランスの伝統工芸「カルトナージュ」でクリスマスツリーを作りました。数種類の布やリボンの中から好きなものを選んで、それぞれにステキな作品が出来上がりました。この日は雪がちらつく寒い日でしたが、クリスマスモードが一気に高まる時間となりました。

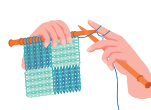
お知らせ

令和7年度

回ビ一展示作品大募集!

交流館であなたの作品を展示しませんか?
展示期間は1か月、利用料は無料です。詳しくは交流館窓口まで。

2月の回ビ一展 手編みサークル



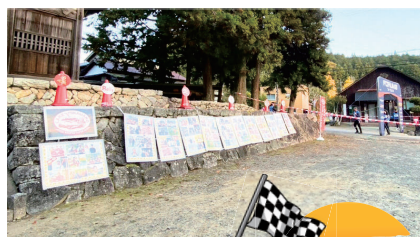
「楽しく作る手作り作品」

編み物小物・マクラメ作品

WRCを応援しよう!

スマイルボードへの ご協力ありがとうございました

みなさんがステキな笑顔でラリーを応援している写真を集めたスマイルボードを、11月24日に開催された世界ラリー (WRC) 三河湖SS地元住民観戦エリアに展示しました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。現在、ボードは交流館1階の壁面に掲示中です。





―豊田県指定

天然記念物

平瀬のヒノキ



絵と文がむいしる

下山地区は、平成17年(2005年)3月までは下山村で村では「ヒノキ」を村の木としていました。ちなみに村の花は「ササユリ」鳥は「ウグイス」でした。覚えておられる方もおられるでしょう。

さて、村の天然記念物の木の中でヒノキは立岩の白山神社のヒノキと平瀬のヒノキの二本がある。白山神社のヒノキは昭和57年(1976年)に指定されて、高さ35m胸高囲3.6mの下山の名木にもなった立派な木でしたが豊田市になう後に枯死してしまいました。ヒノキほどに

立派だったが見たい人は立岩の白山神社の社前に大きな切り株が見られますよ。それで下山地区には4本ある豊田市指定天然記念物の中でヒノキは平瀬のヒノキが一本だけです。この木が下山村で指定を受けたのは平成11年(1999年)その時の高さは約28m胸高囲は約4.1mでしたが、豊田市になって平成25年(2013年)に豊田市が立てた看板では、高さは31.5m胸高囲は4.2mと約14年の年月で高く太く育っているのが分かります。

平瀬のヒノキは平瀬町で巴川が急曲して囲む丘の上の八幡神社の社の脇にすくく立っています。



あじい日の立岩町白山神社のヒノキ